

これまでの取り組み・現状

<奈良県自転車利用促進計画（H22）>

(計画の目的)

- **自転車による広域的な周遊観光を促す環境づくりを推進**することで、自転車ならではの新たな観光スタイルを創出し、県内における滞在型観光の拡大による観光振興や地域活性化を図る。
- **また、あわせて、自転車の利用促進**により、県民の健康増進や環境にやさしいまちづくり等の実現を図る。

(取組内容と結果)

- 全国に先駆けて観光振興と地域活性化に向け、**自転車利用環境整備を実施**
 - ① 自転車利用ネットワークを構築する「**ハード整備**」
 - ② 自転車を利用しやすい環境を創出する「**ソフト施策**」
- ⇒一定の効果は認めるものの、**継続的な自転車の利用促進における取組が必要**

<奈良県の自転車活用における現状・課題>

- 1人当たりの自転車保有台数は全国で上位に位置しているが、**交通手段分担率は低い**
- 民間事業者による**シェアサイクルの普及**
- 観光地における**中心市街地の慢性的な渋滞が発生**
- 県民の健康志向は高いが、**サイクリングの実施率は低い**
- **自転車事故の割合が年々増加**
- 中学生1万人あたりの事故件数は**他府県と比較して高い**

社会状況の変化等を踏まえ適宜見直し、
さらなる発展・推進

新たな課題への対応

(仮称) 奈良県自転車活用推進計画の方向性

① 自転車を活用した広域的な周遊観光を促す環境づくりの推進

- ▶ 滞在型観光の拡大による観光振興や地域活性化

② 自転車を活用したまちづくりの推進

- ▶ 県民の健康増進や環境にやさしい賑わいのあるまちづくりの実現

③ 安全で安心な自転車利用文化の醸成

- ▶ 自転車事故のない安全で安心な自転車社会の実現

< ターゲット >

観光客・サイクリスト

観光客・サイクリスト

県民

県民